

Enhanced Write Filter(EWF)とは

Enhanced Write Filterとは、ディスクへの書き込みを制限できる、Windows XP Embedded Edition(以降 Embedded Edition)特有の機能です。この機能を利用することでディスクへの書き込みを最小限に止め、書き換え制限のシビアなフラッシュセルの寿命を延ばすことが可能になるといわれております。

しかしEmbedded Editionは組み込み向けに作られているため万人向けとはいえません。そこでEmbedded Editionに同封されているEWF機能に必要なファイルを抜き出して、市販されているXP HomeやProfessional Edition(以降 XP)に適用し再現するための方法がスレ内で議論・提案されているため、その内容をここでいくつか紹介いたします。

もちろん利用は自己責任で。

また、別PCにインストールしたEmbedded EditionなどからEWF機能だけを抜き出して自PCにインストールするのはライセンス的にクロです。

Shared PC Toolkitをそのままインストールすれば、ディスク容量も大きくなりますがライセンス的にも、導入もお手軽です。

- はじめにEWF機能についての解説・環境構築など

<http://www.atmarkit.co.jp/fembedded/winembedded/xp01/xp01.html>

- Shared PC ToolkitのEWF機能をXPへ移植する方法(あと4ヶ月 スレ)

Shared PC Toolkitから移植

- Windows XP Embedded Service Pack 2 Feature Pack 2007 EvaluationからEWF機能をXP移植する方法(自作板の【静音】HDDレスPC part2【高速】から)

XPeSP2FeaturePack2007から移植

導入後はスタートアップで

```
ewfmgr c: -commit
```

が実行されるようにするとOK、

参考：ewfmgrのオプション（12秒152氏&154氏）

PC起動時

【パーティションの保護の有無】直前のオプション指定による

【オーバーレイ情報のコミット】しない

- disable

【パーティションの保護の有無】次回起動時より無効

【オーバーレイ情報のコミット】しない

- enable

【パーティションの保護の有無】次回起動時より有効

【オーバーレイ情報のコミット】 不要(無効時に使うため)

- commit

【パーティションの保護の有無】 次回起動時も有効(有効時に使うため)

【オーバーレイ情報のコミット】シャットダウン時に行う

- commitanddisable

【パーティションの保護の有無】次回起動時より無効

【オーバーレイ情報のコミット】シャットダウン時に行う

- commitanddisable -live

【パーティションの保護の有無】コミット完了時より無効

【オーバーレイ情報のコミット】即座に行う